

# 令和4年度 第2回江別市学校給食会理事会

日 時 令和4年10月31日(月) 午後3時00分  
場 所 江別市立学校給食センター 2階研修会議室

## 次 第

1 開 会

2 理事長挨拶

3 議 事

報告事項第1号 江別市学校給食費について

4 そ の 他

5 閉 会

江別市学校給食費について

1 現状

昨今の物価高騰により、小麦製品や食用油をはじめとした原材料費が上昇しており、給食会計に多大な影響を及ぼしている。

令和4年度は、市から補助金の交付を受け、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った給食を提供している。

今後、物価高騰は続くものと見込まれる中、当市の学校給食にて使用している食品 256 品目について、令和3年4月と令和4年 10 月の契約単価を比較したところ、一部品目においては月ごとに価格変動が見られるものの、全体の平均で約 4.33%の上昇となっている。

上昇率の高いものとしては、麺やパンなどの小麦製品や食用油、一部野菜であり、特に主食の麺類については、平均約 37%の上昇率となっている。

2 現行単価の内訳の推移

当市の給食費単価は、主食費・副食費・牛乳費に区分されており、毎年度当初に主食費・牛乳費が北海道給食会などで決定された後、これらを給食費の一食単価から差し引き、副食費を算定しており、年々上昇する主食費・牛乳費により、副食費は圧迫される形となっているが、献立の工夫等により、一食単価を維持しているところである。

下記の表のとおり、令和2年度と令和4年度における各費用を比較した場合、例えば小学校低学年では、主食費が 3.18 円、牛乳費が 1.57 円上昇し、代わりに副食費が 4.75 円下降しており、既に給食会計を圧迫する状況となっている。

(単位：円)

		小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
一食単価		289.00	292.00	295.00	351.00
令和2年度	主食費	80.70	83.76	87.14	95.28
	副食費	160.21	160.15	159.77	207.63
	牛乳費	48.09	48.09	48.09	48.09
令和4年度	主食費	83.88	86.86	90.04	97.77
	副食費	155.46	155.48	155.30	203.57
	牛乳費	49.66	49.66	49.66	49.66
差額 (R4年度- R2年度)	主食費	3.18	3.10	2.90	2.49
	副食費	-4.75	-4.67	-4.47	-4.06
	牛乳費	1.57	1.57	1.57	1.57

### 3 令和4年度の収支見込み及び令和5年度の収支推計

当年度の補助金算定時に用いた消費者物価指数（総務省統計局公表：食料全般）から推計した場合、令和4年度給食会計の収支見込み、及び令和5年度における収支推計は、下記の表のとおりとなる。

なお、令和4年度については、原材料費の高騰対策として、市から補助金 25,485 千円の交付を受けたところであるが、令和5年度においては、このような補助がないものとして収支差額を算定した場合、最大 47,116 千円の支出超過が見込まれている。

（単位：千円）

年度	収入額			支出額				差額	
	給食費	市補助金		主食費	副食費	牛乳費	代替品費		
令和4年度	<b>546,614</b>	521,129	25,485	<b>545,241</b>	157,110	302,158	84,972	1,000	<b>1,373</b>
令和5年度	<b>521,129</b>	521,129	0	<b>568,245</b>	164,905	314,325	88,015	1,000	<b>-47,116</b>

※ 現時点で推計する最大値

### 4 今後の対応

上記の状況から、給食費について早急に検討を要するものと考えられるが、現在、国が光熱費抑制策や地方の物価高騰対策支援を含めた総合経済対策の検討を進めている状況であることも勘案し、今後、物価高騰に一定の落ち着きが見られるなど、時期を見極めたうえで、改めて検討をする必要がある。

一方、令和5年度の収支推計は非常に厳しいことが見込まれており、引き続き、献立の工夫等により、原材料費の節減を図るとともに、継続して市と対応についての協議を行う。